

声をカルテ化するAIツール

kanavO

# 御礼とご挨拶

本日はご提案の機会を賜り、誠に有難うございます。  
弊社の誕生は2018年11月です。私が48歳の時です。遅い創業の契機は、息子の病でした。息子が白血病を患った時に、医療者が患者である息子ために睡眠時間をも削って働いていらっしゃる姿を目の当たりにしました。彼等に感謝するとともに、医療者の働き方改革を通じて医療界に恩返しをしたいと考えるようになりました。

息子が教えてくれたテーマに取り組むため、彼の名前(かなた)を社名につけて、仲間と共にkanata株式会社を創業しました。

試行錯誤を経て、本サービスのβ版を2022年7月にリリースしました。その後、**カルテ入力のための残業**で疲弊されているドクターは勿論、「**患者様ともっと向き合う時間を確保したい**」「**カルテの記載事項を充実**させたい」とお考えの方々に御利用頂く中で音声認識やAIの精度・速度を向上させてまいりました。

お陰様で2023年5月に製品版をリリースしたkanaVoは、250以上の医療機関でご利用頂いています。

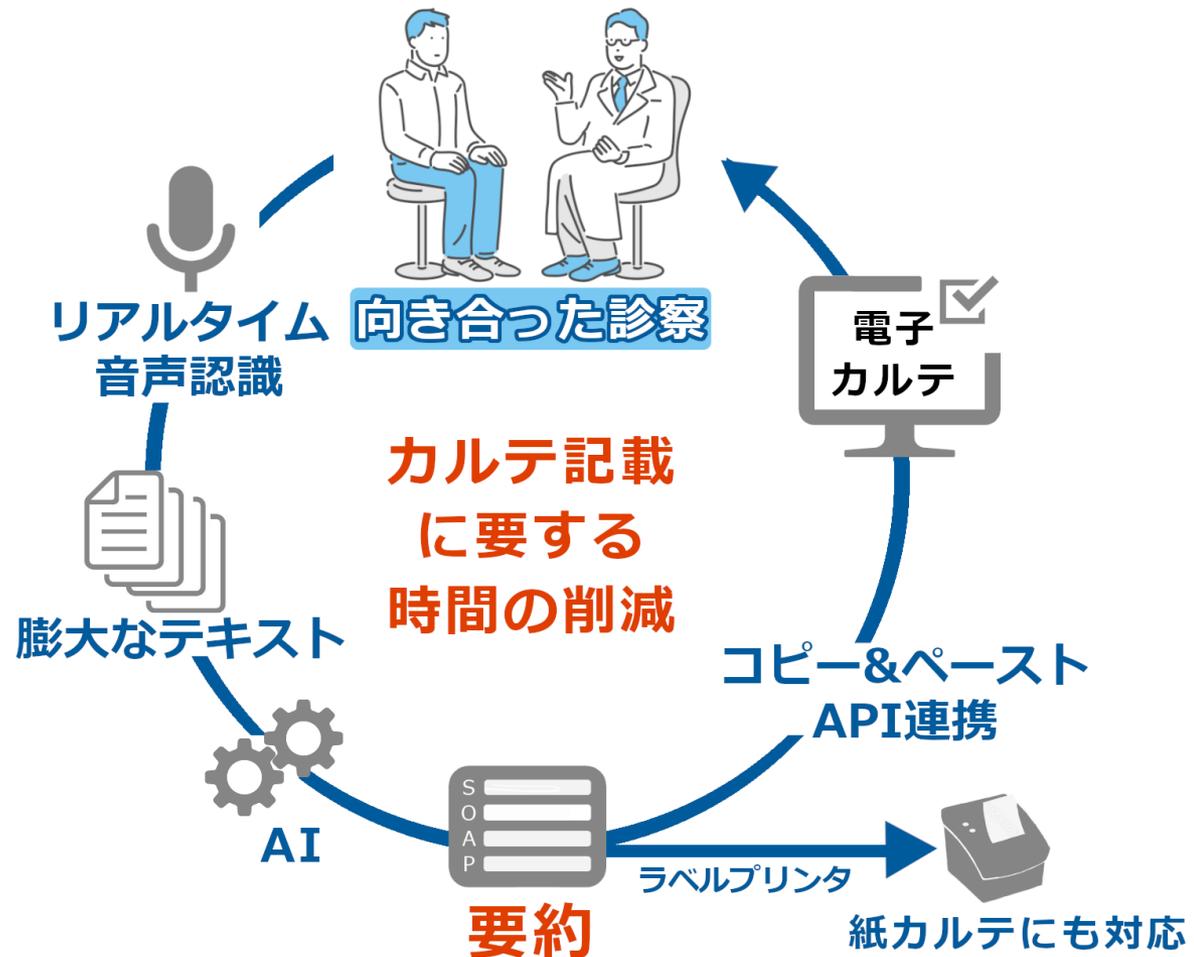
私どもの夢は、医療に携わる全ての方々が、書類業務から解放されて患者様に集中できる社会です。

皆様の診察のお手伝いを**kanaVo** にさせて頂けましたら、これに勝る喜びはございません。

**kanata株式会社**  
代表取締役 滝内 冬夫 1

# kanaVOとは？

音声認識とAIにより診察中の会話をカルテ形式に要約するwebサービスです。  
その精度と効果は高い評価を頂戴しております。導入ユーザー様では、**平均2時間半/日**を要していた日々のカルテ入力が**38分/日**程度に削減されています。



様々なシーンでのご利用を通じて、音声認識と要約の精度は飛躍的に向上しています。診察以外の要約もできるようになり、様々なシーンに対応できることも特徴です。

はい、こんにちは山田さん。今日はどうされましたか？昨日から頭が痛いんです。わかりました。ちょっと見てみましょう。喉も見せてください。あー、だいぶ腫れてますね。えーと、お熱はどうですか？熱は今朝38度2分ぐらいありました。わかりました。じゃあ、えーと、解熱剤を出しますので、3日間飲んでみてください。えー、それでも治らない場合はまたいらしてください。はい、お大事に。

copy&一覧

copy&録音

<S>

# 頭痛

・昨日から頭が痛い。

# 発熱

・今朝38度2分ぐらいの熱があった。

<O>

・喉が腫れている。

<A>

# 喉の腫れ

<P>

・解熱剤を3日間処方。

copy&一覧

copy&録音

QR

音声DL

一般要約

箇条書き

話者区別

タフな環境でも  
高精度の認識  
を実現！

様々なシーンや  
形式の要約にも  
対応可能！

外国語の会話  
にも対応！  
(要約は日本語で)



あとさはい、So what can I do for you today? So actually today I had a rash since last Friday. Oh, rash. Where about it? It's about around the arms, both side arms and legs. Okay, is it itchy? Yeah, itchy. How much. Is it spreading? Yeah, it's spreading from wrist and ankle and it's spreading to thigh or upper arms. I see. Is it painful? I've been having this kind of rash. Yeah, because we came to the mountains last week and enjoy hiking. Oh, I see. Where are you from? Aichi. Aichi. Oh, I see. I've been there. Thank you. All right. So I would like to see your skin. Would you mind taking off your T-shirt? Yeah, sure. Thank you. Thank you.

# 御利用中のドクターのお声



伊藤しあわせクリニック  
伊藤院長

「驚いた」というのが正直なところでした。  
実は「要約」ということには、期待していませんでした。  
むしろ「無理」だと考えていました。しかし、実際に試用してみて認識を改めました。  
これなら、オーダリングなど患者様の会計に直結する情報の入力に専念できるので、患者様をお待たせする時間も少なくなると思います。

kanaVoを利用して電子カルテへの入力の手間が格段に減り、患者さんにしっかりと向き合うことができるようになりました。他の音声入力ソフトも色々と試しましたがなかなか思うようにいかず、ようやく理想のツールに出会いました。

とくに会話の内容をSOAPにまとめるのは画期的だと思います。

※Wevery!チャンネルにおいて取材動画公開中！

<https://www.youtube.com/watch?v=06rFV2t3Im4>



楠本内科医院  
楠本院長

先生方のコメントはインタビューの一部を抜粋したものです。

詳細な内容は弊社サイトでご覧頂けます。

<https://www.kanatato.co.jp/cases/>

# 御利用中のドクターのお声

第33回

クリニックアップグレード計画 (システム編)

## 会話を自動的にカルテ化するクラウドAIツールの活用で患者と向き合う時間を確保

厚生省の医療施設動態調査によると、医師は医療文書の作成や診療録記載などの入力業務に毎日2時間以上かけている。電子カルテの普及に伴い、医師がPC画面に顔を向けただけで診療を行うことが増え、患者の不安や不満につながっているともいわれる。連載第33回は、医師・患者間のコミュニケーション上の課題解決やスタッフの負担軽減のために、音声を手動でカルテ化できるAIツールを活用するクリニックの事例を紹介する。



「キーボードで入力する必要がないので77歳になる名誉院長の父も活用しています」と語る橋本さん

福岡県遠賀郡にある橋本内科医院の橋本拓生院長は、久留米大医学部卒業後、同大腎臓内科医局長などを務め、日本腎臓学会・日本透析学会の専門医・指導医を取得した。大学病院退職後、父が院長を務める同院の副院長に就任すると専門の腎臓内科、腹膜透析外来を開院。2017年に3代目院長を就任した。在宅医療にも積極的に取り組み、地域の「かかりつけ医」として質の高い内科診療を、常勤医師3人体制で提供している。

橋本さんは同院のコンセプトに「若い人から高齢者まで通いやすいクリニック」を掲げる。予約外でも時間を調整して対応はするが、原則完全予約制とし、自動精算機やPOSレジ、クレジット決済、Web問診、電話の自動応答、オンライン診療など、待ち時間の削減や感染予防につながるさまざまなツールを導入。患者の利便性を高め、満足度向上に取り組んでいる。

医療ICTの導入に積極的な橋本さんが、日常診療において特に有用性を実感しているのが、2022年6月に導入した、患者との会話を自動的にカルテ化するクラウドAIツールだ。

### 精度の高い音声解析能力は「凄い」の一言

同院が導入したのは、医療スタートアップのkanata株式会社が開発した[kanaVo (カナボウ)] (<https://www.kanata.co.jp/kanavo/>)。音声認識とAIを

活用した診療支援ツールで、電子カルテ入力業務を省力化できるメリットがある。橋本さんはkanaVoを導入したきっかけについてこう語る。

「以前、インターネットで当院に関する口コミに「院長がパソコンを見て診察するスタイルになかなか馴染めません」という書き込みがありました。しっかり患者さんに向き合うため、看護師や事務スタッフによるカルテの代行入力を開始したのですが、入力技術に個人差がある上に、忙しいときに担当するスタッフが代行入力にかかりきりになってしまうという問題がありました。ほかの方法がないか探していたところ、kanaVoを見つけたのです。翻訳ソフトなど音声で文書になるツールはいくつかあったので試したのですが、どれもカルテとして使うには物足りませんでした。kanaVoの音声解析能力は「凄い」の一言でした」

### 手入力よりも充実した内容のカルテに

kanataは、医療秘書の知識に基づく構文解析技術が搭載されたクラウド電子カルテ「Voice-Karte」という製品を2019年にリリースしている。構文解析技術とは、文の内容を解析し、その構成要素がどのような関係にあるかを明らかにする処理。独自の構文解析技術と音声認識の組み合わせが、マスク越しの早口や周囲が騒がしい環境での会話も高精度で認識できるkanaVoの機能を実現した。他社の音声認識ツールの



図1 kanaVoの音声認識画面：医師と患者の声を分類して表示。聞き返したい部分などは音声の確認が可能です。内容を簡単に修正できる。会話の内容を自動的にカルテ化し、コピーして電子カルテに貼り付けることが可能。



図2 kanaVoの音声認識データ一覧画面：日時や記録の抽出を手掛かりに診療ごとの詳細画面に遷移できる。詳細画面では診療時の会話が表示され、直感的に振り返ることができる。

アップデートが年1回程度であるの比べ、kanaVoは少なくとも週1回のペースでデータを整理。深層学習させることでAIが成長するため、医療向けに活用できる音声認識として評価を得ている。

kanaVoの機能の特徴は、①医師と患者の音声进行分类、②画面(図1)上で気になる箇所を音声確認できる、③自動でカルテ形式に要約の3点にある。

「会話を正確に記録するだけでなく、その会話の内容が自動的にカルテ形式に要約されます。誤変換も少ないので、電子カルテに貼り付ければ、微修正でカルテとして適用するレベルの情報になります。患者さんとのやり取りに集中できるため心に余裕が生まれ、手入力していたときよりも充実した内容のカルテができるようになりました。入力する必要がないので、訪問診療の現場でも有用です。入力の手間が8割くらい軽減されたイメージで、結果的に診察時間の短縮にもつながりました。一覧画面(図2)で患者さんとのやり取りをいつでも振り返ることができる機能もあり、スタッフとの情報共有もスムーズになります」(橋本さん)

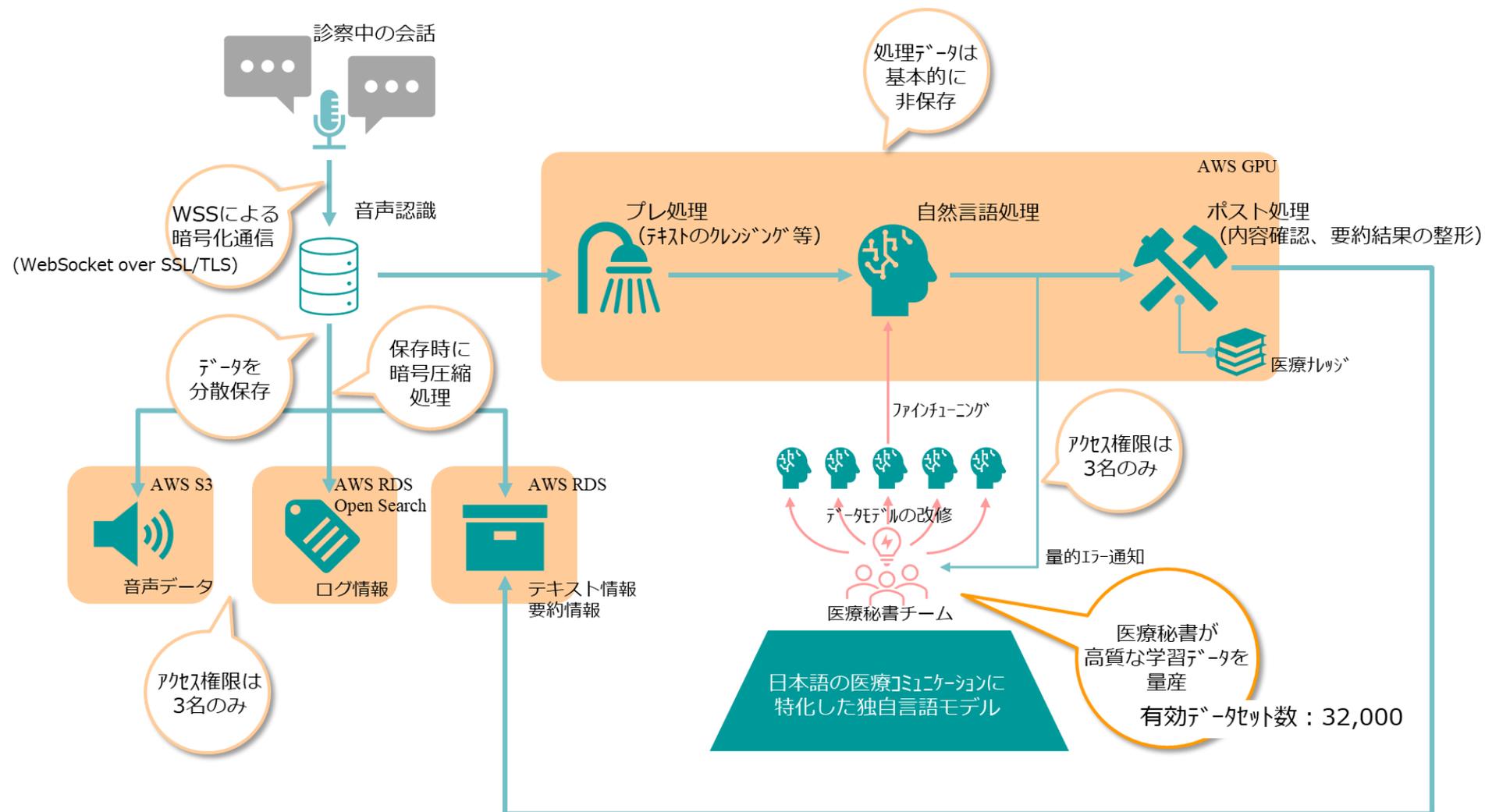
### 多くのクリニックでメリットを感じられる

医療機関においてDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は喫緊の課題となっている。しかしクリニックにおける医療ICTの要となる電子カルテの普及率は40%程度にとどまる。普及が進まない大きな要因とされているのが、カルテ入力作業の負担だ。「これからのクリニックには、高齢化が進む中、患者さんがスムーズな医療体験ができるようにDXを進めていく必要があると考えています。外来、訪問診療、オンライン診療など患者さんのニーズや状態に応じた診療体制を整え、それぞれに最適な医療を提供していくことが求められています。kanaVoの導入で電子カルテを入力する手間が大幅に削減され、患者さんに向き合い、より診療に専念できるようになりました。電子カルテを導入しているクリニックはもちろんのこと、入力作業がネックとなって電子カルテへの切り替えを躊躇しているクリニックも10%以上メリットを実感できるツールだと思います」(橋本さん)

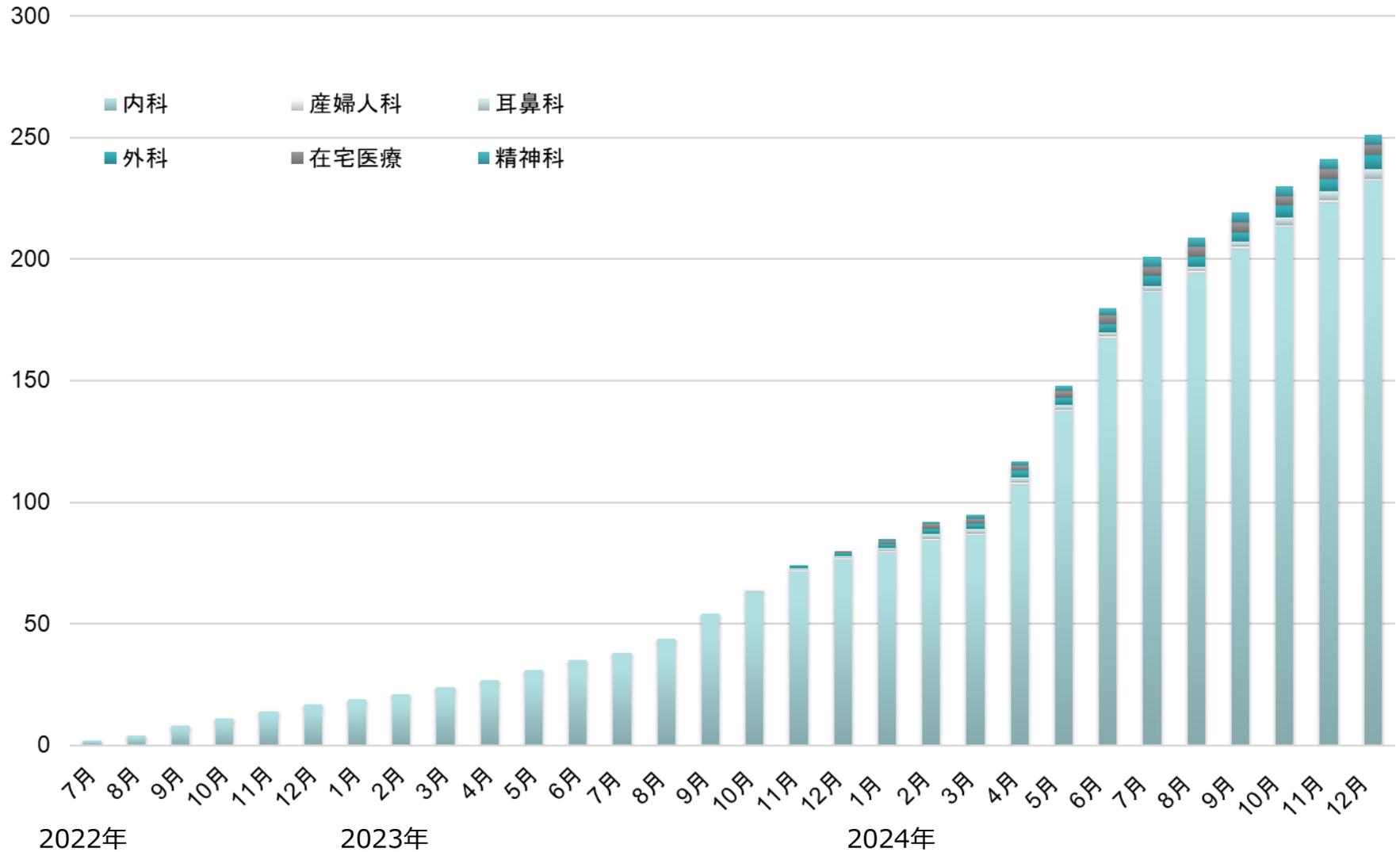
# 類似サービスとの比較

	音声認識 ツール	生成A I系 ツール	k a n a V o
音声認識の精度	◎	○	◎
音声認識結果のカルテ化	×	○	◎
様々な用途に対応した要約の実現	×	△	◎
チーム医療への対応（記録の検索・確認機能）	×	△	◎
データの保全	○	×	◎

# システム構成



# 導入済み医療機関の概況



# 料金プラン

これまでの学習におり、音声解析の精度が飛躍的に成長しました。  
さらに、栄養指導など診察以外の要約にも対応できるようになりました。  
そして操作性も、さらに簡便・直感的になりました。  
もちろん、今まで同様に御利用時間を気にすることなく、様々なデバイスで御利用頂けます。

	<b>kanaVo</b>
<b>初期費用</b>	50,000円
<b>年間利用料</b> アカウント1ヶ付き	480,000円/年 (40,000円/月)
<b>追加アカウント</b> ※記録の閲覧のみの方は追加アカウント不要。	240,000円/年 (20,000円/月)
<b>音声ファイル保存期間</b>	5年間

病院DXアワード大賞受賞を記念して、10,000円/月でkanaVoを御利用頂ける料金プラン「Lightプラン」をご用意いたしました。「新患や長い診察だけ使ってみたい」「看護師等による問診にだけ活用したい」「しばらく試してみたい」とお考えの皆さまに、最適なプランとなっています。

	<b>kanaVo Light</b>
<b>初期費用</b>	50,000円
<b>年間利用料</b> ※3000分/月の利用付き	120,000円/年 (10,000円/月)
<b>超過利用料金</b>	17円/分
<b>音声ファイル保存期間</b>	1ヶ月間

※表記の金額は全て税抜き価格です。

※病院様用の料金プランもご用意しております。詳細はお問合せください。

Copyright (c) kanata inc. All Rights Reserved.

# よく頂くご質問について

最後に、よく頂くご質問と回答を掲載させていただきます。

Q1. 利用環境を教えてください

A1. Windows10以降(ブラウザ:Chrome、Edge)またはmacOS Catalina以降(ブラウザ:Chrome)が必要です。

Q2. 試しに利用できますか？

A2. 10日間の無償試用期間をご用意しております。

kanaVoの音声認識と要約エンジンは、皆さまに御利用頂きながら成長しています。将来の可能性を感じて頂けましたら、kanaVoを育てて下さいましたら幸甚です。

Q3. 電子カルテとの連携はできますか？

A3. 連携のためのWebAPIを御用意しています。

御利用中の電子カルテメーカー様のご協力を頂けましたら、連携も可能です。

Q4. オンライン診療や在宅診療でも利用できますか？

A4. スマートフォンのブラウザでも操作できる画面構成となっております。  
スマートフォン用のアプリもリリースする予定です。

Q5. 院内にサーバを設置できますか？

A5. 現在は、クラウド上での提供のみとさせて頂いています。

ご覧下さり、誠に有難うございます。

弊社サイトで動作イメージや  
最新の情報等も  
お知らせしております。  
ご覧頂けましたら幸甚です。



k a n a t a 株式会社

〒 104-0045

東京都中央区築地3-7-1 2F

☎ 03-6823-5030

✉ [info@kanatato.co.jp](mailto:info@kanatato.co.jp)

<https://www.kanatato.co.jp>

弊社は、情報マネジメントシステムの国際規格である「ISO/IEC27001:2022」の認証を種畜しております。



GIJP-0961-IC

ISO/IEC 27001:2022